

発行人：飯山市長 石田正人
 編集：飯山市役所総務部
 庶務課秘書広報係
 〒389-2292 長野県飯山市
 大字飯山 1110-1
 電話：0269-62-3111
 F A X：0269-62-5990
 インターネットホームページアドレス
<http://www.city.iiyama.nagano.jp>
 E-mail：kikaku@city.iiyama.nagano.jp



飯山市長
石田 正人

明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えの事とお喜び申し上げます。昨年、市民の皆様をはじめ、多くの皆様の御理解と御協力により、市政の運営に当たらせていただき、エコパーク寒川、統合中学校をはじめ多くの事業を着実に進める事ができました。心から感謝申し上げます。

本年は3つの扉をひらきたいと考えております。まず、中学校統合に合わせた教育の扉、次に農業と観光の一体的事業推進の扉、そして新幹線開業への共存同栄の扉であります。今年も沢山の課題がありますが、市民の皆様との協力をいただき、市政運営に取り組みまいります。

さて、昨年は政権交代という大きな胎動がありました。新政権では「仕分け」という予算審議が行われ、その影響で新幹線開業が遅れるのではと心配しましたが、国及び鉄道運輸機構より予定通りの開業との報告もあり、安心しております。新幹線飯山駅は地域全体の振興発展の拠点です。昨年秋季には、駅建設にあたり自然豊かな飯山駅らしいデザインとなるよう関係機関に要望しました。また、利用促進のために必要なアクセス道路の拡充は、国・県の協力を頂きたいと思っております。

市を中心産業である農業と観光につきましては、連携をより深めるため振興公社と観光協会を統合し、「いいやま観光局」(仮称)を設立します。近年、力を入れて海外からの誘客を推進すると同時に、日本一おいしい米をはじめとした農業振興を積極的に進めてまいります。昨年には、転入世帯数が転出を上回る月も増え、人口増の兆しが見えてきました。人口増こそ飯山市の大きな施策ですので、引き続き住宅対策、企業誘致に取り組みます。また、若者の結婚を応援する「恋するいいやま」を昨年より実施し、大勢の若者に参加をいただきました。きつと恋が芽生え結婚報告が来ると期待し、本年も実施してまいります。

いよいよ開校が4月に迫ってきた中学校統合は、耐震工事や校舎増築をはじめ、通学路、通学バスの整備等を進めています。4月から生徒の皆さんが安心して通学できるよう、万全の体制で準備を進めます。また、平成26年に予定される飯山北高校と飯山高校の統合に伴い、高校統合の時点で、今の飯山高校校舎が城南中学校校舎として使用できるように、県と話し合いを進めていきます。

このほか、お年寄りの安心安全を更に推進するため、外様にデイスーパー・ショートステイの機能を持つ新たな介護施設を開所し、更なるお年寄りの安心安全な体制づくりを推進します。また千曲川治水のための更なる堤防補強、築堤促進なども国・県に要望し取り組みます。

本年も市民の皆様と共に、「子供に夢と希望を、市民に元気を、お年寄りに安心安全を」実感いただけるような、共存同栄の市政を運営してまいります。市民の皆様のご発展と御健康を祈念して、年頭の御挨拶といたします。

もくじ

新年のごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・2・3ページ
 新型インフルエンザワクチン接種について・・・・・・4
 地域全体で守りたい「景観」と「安全」・・・・・・5
 新中学校の校歌が決定・・・・・・・・・・・・・・・・6
 各種健診・検診を受けましょう・・・・・・・・・・・・8
 税の申告は正しくお早めに・・・・・・・・・・・・10・11



飯山市議会議長
佐藤 正夫

明けましておめでとうございませう。市民の皆様におかれましては、思いを新たに希望多き新年をお迎えのことと存じます。

昨年は国政において選挙による初めての政権交代があり、国民主権の立場から見ても素晴らしいことと思っております。財政の無駄を省き地方分権を進め、平和と国民の生活を守る政治をしていただきたいと思っております。また、当市にとっても大変重要な施策である戸別所得補償制度の創設等の確かな取り組みを推進され、世界の景気回復基調から日本だけが取り残されることの無いよう期待いたします。

その様な中、当市においては市民の皆様のご理解のもと、多くの事業が順調に進められました。ごみ処理関係施設は全て完成し、旧施設の解体も完了しました。また、市内中学校の再編も、城北・城南各校舎の改修が順調に進み、四月の開校に向け準備が進んでいます。寺まち交

流館も四月開館に向け進んでいます。さらに、四年後の開業をめざす北陸新幹線工事は駅周辺整備が進み、菜の花大橋が起工、市内高架橋も日増しにその姿が見えてきたことで、大きな期待と共に迎え入れ準備を急ぐ必要を感じます。人口増対策についても、移住住宅やアパート建設、また同居世帯の新改築への助成等で人口減を防ぐ一定の成果を上げています。しかしながら、当市の基幹産業である農業の情勢は厳しく、中でもアスパラ生産は大変な状況にあり、しっかりと支援が待たれます。また観光・商工業の情勢も依然厳しく、その振興を図るため様々な施策が必要であります。市では昨年、海外から多くの誘客を目指す試みで中国大連に窓口を設置しました。交流を進めながら、すぐに実績を挙げるのは難しくとも、今回印した点が、やがて大きな柱になることを期待しています。四月には振興公社と観光協会が統合され、いいやま観光局(仮称)になります。早期に体制を確立し、「悠久のふるさと飯山」の素晴らしさを国の内外に広くアピールし、地域振興の核になることを期待しています。

地方自治体は、非常に厳しい状況に置かれています。その中で「地方分権」、「地域主権」が始まった今、政策決定を担う議会の役割は飛躍的に高まっています。議会としては、更なる活動活性化をめざし、議会改革検討委員会を設置し、市民と共に歩む議会を心掛ける所存であります。

行政と両輪をなす議会に求められる市民の期待をしっかりと受け止め、この地で安心して暮らし、将来に夢が持てる地域を創るため努力して参ります。

皆さまの一層のご支援をお願い申し上げます。新しい年が市民の皆様にご素晴らしい一年になりますようにご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。